

【研究シーズテーマ】

実用化へ向けたDFX(Design For X)の最適化と評価

 工学部 知能機械工学科 教授 **宋 相載**

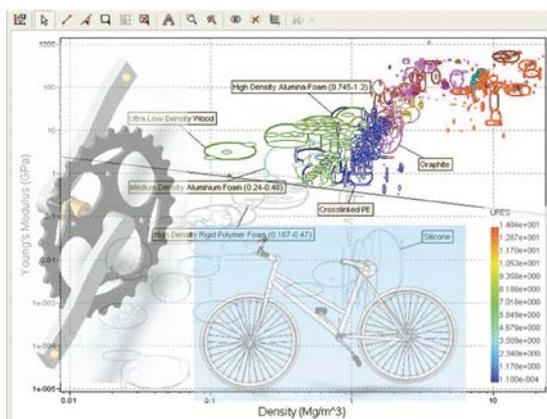
Keyword
**最適設計/工程設計/レイアウト設計/3D解析/品質工学/
生産システム改善/シミュレーション**

 12 つくも責任
つかう責任

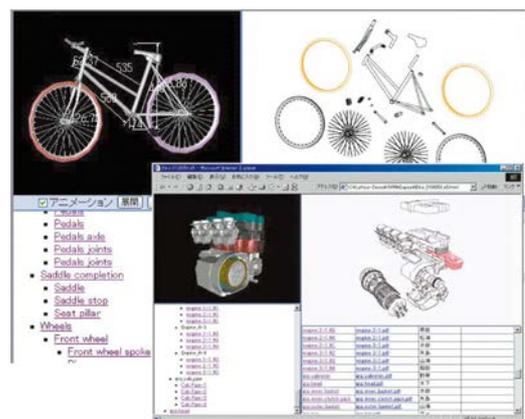

【研究シーズの概要】

今、ものづくりのあらゆる課題を企画・設計の上流側で効果的な解決を図ろうとしています。それは、不具合を未然に防ぐことで手戻りを無くし、設計・生産のリードタイム短縮を図り、ものづくり競争力を強化する狙いです。私たちは、3次元デジタル技術を応用した「デザイン・フォー・エックス:DFX」の最適化技法とその開発・評価について実績をもって、産業界の技術革新にエクセレントなソリューションを提供し続けます。

◎Design Solution



◎3R Solution: Life-Cycle Engineering.



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- DFXは現有資源を活かした大局的な最適化を可能にします。
- DFXは高性能・高機能・長寿命でかつ環境フレンドリーな設計を実現します。
- 設計原理は(X=)製品・システム・工程・材料・安全の設計に革新性をもたらします。

【産業界での展開・用途】

- 人工物の3Dモデリングと最適化解析・評価
- シミュレーション技法による生産システム(現場)の最適化と評価・改善
- 品質工学と統計解析によるロバスト設計

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp